

ノコメトガリキリガ

モモ， ナシ， リンゴなど広葉樹のつぼみや花を食べるイモムシ（幼虫）． 最大長約40mm．

モモではモモノハナムシと呼ばれ， 害虫とされている．



1. 若い幼虫， 体長10mm. 1992/6/3.



2. 老齢幼虫， 体長26mm. 1992/6/8. 1を飼育.

新得町， ハルニレの若い実



3. 雄成虫， 体長13mm. 1を飼育.

【学名】 *Telorta divergens*

【分類】 チョウ目 (Lepidoptera) ， ヤガ科 (Noctuidae)

【分布】 北海道， 本州， 四国， 九州；アムール.

【特徴】

幼虫の色彩は中～終齢の間で変わらない． 類似種との区別点として， 腹部2～6節の各節後方の背面両側に三角形の褐色斑があり， また， その斑紋の側縁は黄褐色であること， 肛上板（腹端の背面）がほぼ一様な色調であることがあげられる．

【生態】

モモ， ナシ， リンゴ， ボケ， ツバキのつぼみや花を主に食べるという． 北海道ではハルニレの若い実から採れた．

年1化， 卵越冬， 成虫は10～11月， 幼虫は3～4月に出現するという． 北海道の低山地では6月初めに中齢幼虫が採れ， 飼育し

たところ6月下旬に土中で営繭，9月下旬に成虫になった。樹幹に産卵し，若～中齢幼虫は花やつぼみを食べ，花が終わる頃に現われる老齢幼虫は葉を食べるという。

【文献】

1958. 江崎悌三ほか. 原色日本蛾類図鑑（下）：I-V, 1-303, pls 65-136. 保育社, 大阪.
1965. 一色周知監修. 原色日本蛾類幼虫図鑑（上）：1-238, pls 1-60. 保育社, 大阪.
1977. 小林富士雄. 緑化樹木の病害虫（下）害虫とその防除. 290 pp. 日本林業技術協会, 東京.
1982. 井上寛ほか. 日本産蛾類大図鑑. Vol. 1: 1-968; Vol. 2: 1-556, pls 1-392. 講談社, 東京.
1987. 杉敏郎, 編集. 日本産蛾類生態図鑑：1-453, pls 1-120. 講談社, 東京.
- *1996. 原秀穂. ハルニレの種子の害虫. 光珠内季報, 101: 4-7. (宿主)

*の文献は北海道立林業試験場ホームページの「北海道立林業試験場・研究成果文献データベース」で見ることができます。

北海道立林業試験場・緑化樹センター

ノコメトガリキリガ yaga/nokometo

kaisetu.htm

「文章」原秀穂, 北海道立林業試験場, 1993/1/13-2001/1/18.

1yochu1.JPG, 1yochu2.JPG, 1seichu.JPG

「写真1～3」原秀穂, 北海道立林業試験場, 1992.